

カワセミのすむ環境は良いけれど...

SS-1A-SA10



カワセミ(カワセミ科)
全長17cmほど、背は美しい青色、頭部や翼は青みを帯びた緑色、胸や腹は黄やオレンジ色。平地、低山地のきれいな川や池沼などの水辺で小鱼を捕えて生活する。空中の一点で静止飛行ができ、小鱼を見つけると急降下する。

探鳥の楽しみの中に環境への関心を

「トリは環境のバロメーター」の一例としてよく取り上げられるカワセミ。都市化による環境の悪化、魚も

すめないような水の汚れなどで、もうずっと前に東京周辺から姿を消してしまっただけのカワセミが、最近、多摩川の中流や明治神宮に現われたという報告がありました。ハシトガラスやヒヨドリそしてドバトなどの、悪い環境にもめげずに暮らしているトリたちのたくましさにくらべ、何とつましやかな「復活」でしょう。でも、このわずかな観察記録だけで、良好な自然がもどりつつあるとするのは、残念ながらまだ早いのです。

別の観点からお話してみよう。ことしも、日本で冬を過ごすトリたちが、たくさん訪れています。ツルで有名な鹿児島・荒峰、ハクチョウやガンの宮城・伊豆沼、カモの千葉・新浜や東京・不忍池など、この冬は一般に渡来数の数が昨年よりも増えているところが多く見られました。厳しい冬を越すために日本へやってきた彼らは、エサの取りやすい、ヒトによる身の危険が少ない地点に集まっています。ですから冬鳥の群れが多くなったからといって、それは「点」だけで、日本全体の自然環境が良くなったことにはなりません。それどころか、渡り鳥ではない、日本に棲んで日本で繁殖する種類は、むしろ減りつつあるのが実状で、日本の自然の中では、トリたちの生息環境

はせばめられていく一方なのです。

数が増えたからといって喜べないのは、ヒヨドリやハシトガラスやドバトの「都市指向型」の例もあるように、悪い環境に強いものはますます強くなり、そうでないものは減少への道をたどり、渡り鳥は餌と身の安全が十分な場所だけにやってくる...という現実をふまえてのことです。

カワセミが、ほんとうに生息するのにふさわしい自然環境だからそこに現われたのか、何かの「拍子」に迷鳥としてやって来たのか、今後の調査に期待したいところですが、こういう朗報(?)を単純に喜べない私たちのニッポンをととても悲しく思います。

最近、野鳥や自然保護に対する皆さんの関心が高まっている中において、バード・ウォッチング(探鳥)の楽しみと共に、これからはいわば「量より質」の、環境指標としてのトリの発見にも心を寄せていただきたいというのが私たちの願いです。

増えた、減った、来なくなった、もどって来たなど、トリへの影響は人間本位の「環境操作」によって起こることが多いのです。私たちは、動物や植物やすべての自然をふくめた環境を見つめるべきです。この発想に立つて、トリたちの姿を通じて、おかしな「環境操作」が行われないようにきびしく監視し、私たちのより良い環境のあり方を考えていきたいと思うのです。



ヒトの心にもトリの保護区を

財団法人 日本鳥類保護連盟
サントリー株式会社

●この広告は、財団法人日本鳥類保護連盟の指導を得て、サントリー株式会社がシリーズとして制作しています。

トリからのメッセージ 79

- ポスター「トリは環境のものさし」
野鳥の種類をふくめることで、その土地の環境のよしあしあがわかるカラーイラストの新作ポスターです。サイズ別全紙(ヨコ728×タテ103cm)・・・500円・〒300円
- 愛鳥キャンペーン新聞広告掲載版
いままでのシリーズ広告をまとめたもので、教材や副読本として好評をいただいています。
第1集(昭和48年5月～53年4月)・・・500円・〒300円、第2集(昭和53年5月～58年4月)・・・500円・〒200円
- 美しい自然シリーズのパンフレット、3冊までそろっています。①庭に小鳥を・・・野鳥を招く楽しみをやさしく解説。
②野鳥を見に・・・野鳥観察や探鳥会の入門書として最適。③自然の中で・・・自然のしくみ、鳥との関わりなどをマンガ中心に展開。
各誌1冊送料込み300円です。ご希望の方はいずれも代金を切手で、品名明記のうえお申込みください。
宛先:〒103-91 東京都日本橋局区内私書箱231号 サントリー株式会社 愛鳥キャンペーン係